動かなくなったセットスクリューを緩める

概要

本書でご紹介する方法は、ボストン・サイエンティフィック発行の「植込み型心臓パルスジェネレータの交換ガイド」に掲載されており、植込み時、またはパルスジェネレータ交換時に適用して、緩めた（「上」）位置または締めた（「下」）位置のいずれかで動かなくなったボストン・サイエンティフィック製パルスジェネレータのセットスクリューを動かすために使用することができます。 この方法では、標準モデル 6628（または互換モデル）双方向トルクレンチを使用します。

製品の取扱説明書、または「**A Closer Look**」の「*双方向トルクレンチおよびセットスクリュー*」を参照して、所定のパルスジェネレータ製品ラインにはどのモデルのレンチを使用するかを確認してください。

関連製品

ボストン・サイエンティフィック製植込み型パルスジェネレータ全製品

本書に参照されている製品の中には、一部の国や地域によっては認可されていないものもあります。 機器操作の総合的情報や使用上の注意については、添付文書および取扱説明書をご参照ください。

お問い合わせ先

南北アメリカ
（西インド諸島、中米、北米、南米）
www.bostonscientific.com
テクニカルサービス
LATITUDE™ クリニシャンサポート
1.800.CARDIAC (227.3422)
+1.651.582.4000
ペーシェントサービス
1.866.484.3268

ヨーロッパ、日本、中東、アフリカ
テクニカルサービス
+32 2 416 7222
eurtechservice@bsci.com
LATITUDE クリニシャンサポート
latitude.europe@bsci.com

Asia Pacific
テクニカルサービス
aptechservice@bsci.com
LATITUDE クリニシャンサポート
latitude.asiapacific@bsci.com

© 2012 by Boston Scientific Corporation or its affiliates.
All rights reserved.

時折、セットスクリューが緩めた（「上」）位置または締めた（「下」）位置のいずれかで動かなくなってしまう場合があります。 本書は、ボストン・サイエンティフィック製モデル 6628（または互換モデル）双方向トルクレンチを使用して動かなくなったセットスクリューを緩める方法をご紹介します。

注: *ボストン・サイエンティフィック製植込み型パルスジェネレータの新世代製品には、「シルクハット」型のセットスクリューが使用されています。これらのネジは、セットスクリュー用リテーナーワッシャーを廃してセットスクリューがねじ戻し位置で固く締まらないよう設計されています。*

ステップ 1. トルクレンチを挿入する

シールプラグのスリットの入った中央のくぼみを探して、双方向トルクレンチを注意してセットスクリューの六角スロットに挿入します。

警告： *トルクレンチ以外を使用すると、六角スロットが曲がるおそれがあります。*

注意： *トルクレンチを挿入する際は、シールプラグを損傷しないよう注意してください。*

ステップ 2. 動かなくなったセットスクリューの位置を確認する

動かないセットスクリューが、ねじ戻し位置とねじ込み位置のどちらで締まっているかを、以下の記述に従って判断します。

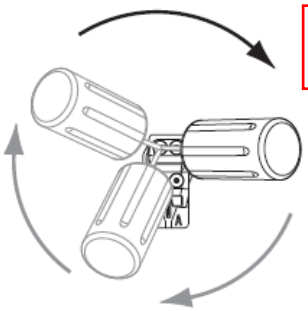
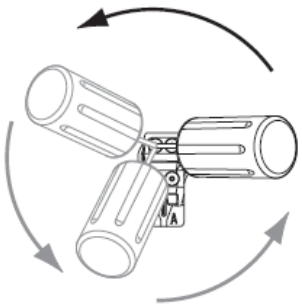
次の位置に固く締まったセットスクリューの特徴：	
ねじ戻し・緩んだ（「上」）位置	**ねじ込み・締った（「下」）位置**
レンチはいずれかの方向に回すとすぐにラチェット機構が働きます。	レンチはいずれかの方向に回すとすぐにラチェット機構が働きます。
セットスクリューが下方向に動かない	セットスクリューが上方向に動かない
ネジがリードバレル内に目視できない	ネジがリードバレル内に目視できる（リードが完全に挿入できない可能性がある）
既にリードバレル内に挿入されているリードを簡単に外すことができる	既にリードバレル内に挿入されているリードを外すことができない

ステップ 3. 動かなくなったセットスクリューを緩める

A. 直角の位置から、レンチを垂直中心軸に対して 20°～30°傾けます（図 1）。

図 1. 直角の位置から 20°～30°傾けたレンチ。

B. 下記に従ってネジを回します。

セットスクリューがねじ戻された・緩んだ位置の（「上」）場合：	セットスクリューがねじ込まれた・締った位置の（「下」）場合：
• 垂直軸の周囲でレンチを 3 回、時計回りに円を描くように回します。レンチのハンドルがネジの中心線の周りを回るように回してください。	• 垂直軸の周囲でレンチを 3 回、反時計回りに円を描くように回します。レンチのハンドルがネジの中心線の周りを回るように回してください。
	
時計回りにレンチを回す動作の上面図	**反時計回りにレンチを回す動作の上面図**

回転時にレンチのハンドルをひねったり曲げたりしな

- 回転時に六角レンチのハンドルをひねったり回したりしないでください。
- 必要に応じて最大 4 回まで、各回転動作につき角度をわずかに変えて（30°を超えないこと）回転させることができます。

回転時の六角レンチの側面図

ステップ 4. セットスクリューが緩んだら、必要に応じてセットスクリューをねじ込む（締める）か、またはねじ戻し（緩め）ます。

この動作は、同じレンチを使って最大 4 回まで行えます（最大 12 回転まで）。 4 回（12 回転）試しても、セットスクリューが固く締まったままの場合は、それ以上レンチを回さないでください。

注記：

- *この方法を実行したらその都度トルクレンチは廃棄してください。レンチの校正が保証されませんので、再滅菌、再使用はしないでください。*
- *この方法は、ボストン・サイエンティフィック製パルスジェネレータのヘッダー構成すべてに適用できます。*
- *六角レンチを 20°～30°に傾けると、六角レンチの刃先がわずかに曲がりますが、これは想定されたものです。*
- *セットスクリューが緩められない場合は、レンチキット モデル 6501 の No. 2 の六角レンチを使用してください。*